

SPORTS CALENDAR

2月

2月 3日(日) サッカー協議会リーグ戦
8日(金) ~11日(月・休) スキー祭典
15日(金) ウォーキングクラブ例会
16日(土) なのはなテニス大会
24日(日) なのはなテニス大会
サッカー協議会リーグ戦
28日(木) 卓球協議会講習会

2日(土) 千葉県施設調整会議
9日(土)・16日(土) 千葉市施設調整会議
9日(土)・10日(日) 全国連盟評議員会
16日(土) 野球協議会総会
22日(金) 第4回県連盟理事会

3月

3月 3日(日) 祭典・空手大会
なのはなテニス大会
9日(土) なのはなテニス大会
13日(水) スリーダブルス卓球大会
15日(金) ウォーキング例会
16日(土) なのはなテニス大会
23日(土) なのはなテニス大会
30日(土) 冬季バドミントン大会

2日(土) ~3日(日)
全国スポーツ祭典スキー大会

6日(水) 第13回常任理事会
17日(日) 第47回県連盟定期総会

オリンピックとお金

東京五輪・パラリンピックまで後一年半余りになった今、またぞろお金が絡む問題が浮上してきた。今回は大会の根幹を揺るがす大会招致にかかわる問題。

報道によれば、招致に向けアフリカ国際オリンピック委員会メンバーの支持をとりつけるためにシンガポールのコンサルタント会社の口座に合計で2億円を超える『お金』が招致委員会から振りこまれたことに端を発しているという。

このコンサルタント会社からセネガル出身・国際陸連前会長氏の息子とつながりがあり、前会長氏はロシア陸上界のドーピング疑惑に絡み金銭授受の疑いで仏当局から起訴され、IOC委員の資格停止処分を受けている経歴がある。五輪誘致の投票権を持つIOC委員にコンサルタント会社から渡った可能性があることで竹田IOC委員が仏当局から事情聴取を受けたが、竹田会長は「契約に基づいて正当な対価を払った」旨コメント。しかしながら支払った金額の用途が全く不明であるという。

今までも五輪招致を巡り買収容疑が取りざたされ、2016年ブラジル・リオで開催された大会の招致にもこの親子が絡んでおり、その際に問題となった金額も今

回とほぼ同じ2億円余。素人目で見てもうさん臭い。今までも東京五輪・パラリンピックを巡っては、新国立競技場の建設費用が当初予算よりも数倍も膨れ上がったたり、大会運営費用が当初6000億円であったものが1兆3千億円と3倍近くにもなったり、選手村になる土地が通常の評価額をかなり下回る金額で大手ディベロッパーに売り渡されたり（これは住民訴訟にもなっている）等々お金にまつわる問題には枚挙に暇がない。

いずれも我々の庶民感覚からすれば途方もない金額である。その出所をたどれば、いずれも我々が支払った税金である。

選手ファーストと言いながら選手強化よりも贈収賄に繋がりがねない資金の利用や土木工事を主体とする公共工事にお金を使うという本末転倒な姿ばかりが目立つ。

NHKの今年の大河ドラマの主演・金栗四三氏も嘆いているのではないかと？

因みに金栗氏の故郷・熊本は筆者の出身地でもあるので今年の大河ドラマは必見と思って毎回楽しみにしている。



理事長の独り言

Sports Net

ちば 2019年2月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture
2019年2月1日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL http://sports.geocities.jp/njsf_chiba

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 202号

冬季卓球大会に60チームが参加 ハイレベルの対戦が続く図ろう!

大寒の最中ではありましたが、昨年開催出来なかった冬季オープン大会が1月27日(日)65チームがエントリーし、千葉市の花島公園体育館で開催されました。

卓球台が18台しか設置されていないことから60チームに限定し、試合方法も2ダブルス4シングルの為、リーグ戦のみの運営となりました。

今回はネットを見て、茨城県や東京、大学生や高校生のチームの申込みもありました。

高校生チームの中にはインターハイ出場校もありました。

3月岡山県で開催される年代別全国大会の練習を兼ねて参加した選手も多く、ハイレベルな試合展開となりました。

A・B・Cランク別で募集し、レベルに合わせて5チームリーグに編成、各ブロック毎で順位を決めました。

男子Aブロックは高校生・大学生・一般と年齢差のある組合せとなりました。

5試合中3試合の先取ではありましたが最後のダブルス戦にまでもつれ込む対戦が多く見られました。

夜の8時過ぎまでかかるのではないかと気を揉みましたが、参加選手の協力のお陰で7時前には全員退館する事が出来ました。

参加した玉川大学の伊藤選手は「高校生や一般の人達と沢山試合ができて100%メッチャ楽しかったです。」とニコニコ顔。

船橋卓友会の横山選手は2W3Sと言う試合形式は初めてでしたがとても面白く楽しめました。また是非参加したいです！」と疲れた表情の中にも満足した顔つきが印象的でした。

試合結果は以下の通りでした。(1位のみ)

男子

Aブロック 千葉経済高校

Bブロック ポピンズ

Cブロック 卓栄会
Dブロック 船橋卓友会
Eブロック ORION-B
Fブロック ORION-C
女子

Aブロック 杏仁クラブ
Bブロック 八街クラブ
Cブロック 幸 C
Dブロック スヌーピー B
Eブロック ラベンダー
Fブロック 青野クラブ

卓栄会



ORION-B



杏仁クラブ

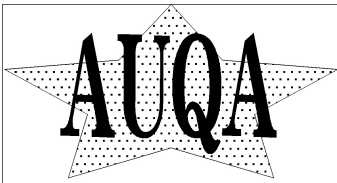


スヌーピー B



ラベンダー





秋の交流大会に続き新春大会も制覇！

ミックスバレーボール新春大会in柏

年末から正月にかけて日本列島を襲った寒波が多少緩んだ年明けの1月6日（日）「第15回ミックスバレーボール新春大会in柏」が12チームの参加で行われました。

会場となった柏市中央体育館は築後40年以上経過しており外観からはいささか古い建物ですが、3面コートと立派な観客席を有し、VリーグV2/3の試合も行われているそこそこの施設です。

大会当日は会場時間の8時半には殆どのチームが集まり準備作業も順調に進み、9時過ぎには体を温めるためにアップに汗を流す選手も見受けられたので開会式も選手が体育館のアチコチに散らばる中でマイクを通して簡単にすませ9時半に一齐にプロトコール！

午前中は参加12チームを4つのブロックに分け各チーム2試合をこなす予選リーグ戦を行いました。

結果、1位トーナメント戦には過去の交流大会でも実績を残しているAQUA・BURST・REVERSIBLEと新顔の習志野市役所（実は常勝軍団の八街排球クラブのメンバーも入る強豪チーム）の4チーム。

2位トーナメント戦にはROUGE A/B・Sophia・MIXの4チーム。

3位トーナメント戦にはMORE・クロス・千葉



ニューウエーブ
習志野市役所

大園芸バレー部・スプリングワンの4チームがそれぞれ上位をめざし熱戦を繰り広げました。

1位トーナメント戦は流石に力のあるチームばかり。接戦につぐ接戦でどのチームが勝ちあがるか全く予想がつかない試合展開。

次回が楽しみな
リバーシブル



連覇を飾った
チームAQUA

AQUA vs BURST / 習志野市役所 vs REVERSIBLEの2試合は、いずれもジュースを含むフルセットに持ち込まれる試合展開となり、利用時間内に終わるかどうかが主催者としてはヒヤ汗モノでした。

更に優勝決定戦となったAQUA vs 習志野市役所は、体育館利用時間である17時が迫ってきたことから1セット終了時の16時45分でゲームセット。

25対23のスコアでAQUAが辛くも逃げ切って優勝。フルセットまでやっていたらどちらが優勝するか予断を許さない試合でした。

勿論2位・3位トーナメント戦もそれぞれ熱戦

クラブ紹介 Rossowave

(ロツソウェーブ)

野 球



- ①クラブ（チーム）名 Rossowave（ロツソウェーブ）
②代表者 土井 佑太



③チームの概要

（名前の由来・チームの特徴・練習日程・人数等）

ホームページ

<https://teams.one/team/rossowave>

千葉県柏市を拠点に、大会によっては都内・埼玉県・神奈川県・茨城県に遠征し活動しております。

チーム結成は2011年で、クラブチームではありますが、スポンサーとして地元の焼肉屋に応援していただいております。

当初は中学校のメンバーで始めましたが、高校の同級生、地元やバイト先の後輩など、芋づる式で現在の形となり、26歳～19歳の総勢36名体制です。仕事や結婚など



豊富な投手陣が持ち味

で普段は10名～15名の参加ではありますが、全員試合に出すチーム方針の下、練習は一切行わず、毎週日曜日に2試合組んでおります。

チームの特徴は豊富な投手陣と足を使った1点をもぎ

取る野球です。

目立ったメンバーはいませんが、1人1人が自分の役割に徹しチームワークで戦います。

メンバーの経歴も多彩で、大学・高校野球を経験したのもいれば、中学で野球をやめた者やそもそも野球経験が無い選手もいます。

目標は全国大会出場とプロスタ出場で、全国軟式野球連盟のほか、各種オープン大会などに参加しており（H



足を絡めて1点を奪う

30年度は13の大会に出場）新日本スポーツ連盟の大会でも全国大会出場を目指し初参加させていただきました。スポーツ連盟においては新参者のチームではありますが、皆さんの応援の程宜しくお願い致します。

⑤その他

（スポーツに関する情報・スポーツ連盟に期待すること等）



人口減の影響もあり、スポーツ連盟への加入チームが減少傾向にあると聞きましたが、スポーツ種目の多様化や昨今のブームもあり、全体的なスポーツ人口は増えていると考えております。

ホームページも折角ありますので、SNSを使った大会のPRや大会記事の掲載を更に行う事で他県に負けないスポーツ連盟になるのではないかと感じます。更に大きな連盟にするためにグラウンドの確保や審判技術の向上にも努力して頂ければ幸いです。

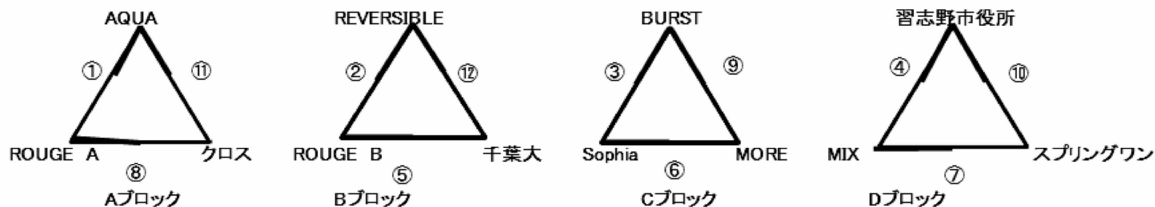
が続き参加選手の皆さんも大いに満足していただけたようです

大会中声をかけたROUGE新キャプテン・佳元大樹選手から「練習で使っている学校の体育館が工事中で練習ができないのでこの大会参加がいい練習になります」とのこと。

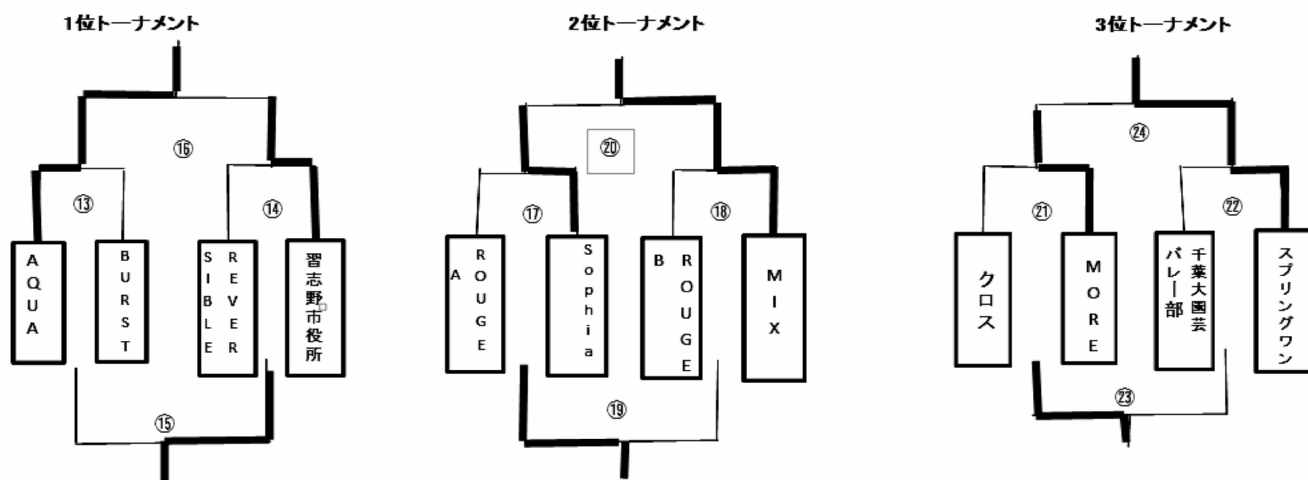
今年も年間4大会開催に向け2年目を迎える協議会としても正念場になりそうです。

大会結果は次のとおり。

【予選リーグ(赤字は試合NO)】



【決勝トーナメント(赤字は試合NO)】



ミックスバレーを愛するチームの皆さんへ 新日本スポーツ連盟・協議会に加盟しませんか！

昨年4月に3チーム体制で発足しましたミックスバレーボール協議会ですが、その後、諸般の事情も手伝い2チームの辞退があり、現在1チームで運営しています。

年間4大会(春夏秋冬)の大会運営も軌道に乗ってきましたが、参加チーム募集や大会当日のスタッフ手配に毎回悩んでいます。

この窮状を救って頂けるチームの皆さんへ協議会への加盟を訴えたいと思います。

一緒に協議会を盛り上げませんか！
連絡をお待ちしています。



連絡先 千葉県ミックスバレーボール協議会
会長 園川 峰紀
携帯 090-1105-9773
PCメール mike-sonokawa@dc5.so-net.ne.jp
携帯メール triathlete-sono3@ezweb.ne.jp



常任理事会報告

1月28日(月)連盟事務所にて第11回常任理事会開催。

12月18日から1月28日までの主な活動の取組み。

ランニング 1月7日に5月開催のリレーマラソン第2回事務局会議を開催。昨年参加の176チームに大会要項を郵送。県連盟HPに大会要項を掲載。

ウォーキング 12月21日(金)東金古道を参加者18名で散策。恒例の餅つきも。1月は11名で清澄寺。

ミックスバレー 1月6日(日)柏中央体育館で12チームにより新春交流大会。優勝はAQUAでした。

卓球 12月24日(月・休)に千葉市・花島体育館で、男子7チーム、女子14チーム加で盟杯大会を開催。加盟クラブの親睦・交流のため入賞チーム以外の参加者にもお土産がありました。

1月27日(日)にも冬季卓球大会が花島体育館にて開催し60チームが参加しました。

テニス 鈴木杯テニス大会を12月23日・1月3日に開催、1月に入り13日・27日になのはなテニス大会を開催。27日のチーム対抗戦では申込が殺到。

バドミントン 12月22日(土)千葉県総合スポーツセンターにて男女団体戦を開催。東京・神奈川からの参加も含め57チームが参加。

優勝は男女とも東京から初参加のクラブ。

空手 1月13日(日)稲毛駅前の「はなの舞」で新年会を兼ねて3月3日の千葉県スポーツ祭典の打合せ。200チームを目標に多くのチームに呼びかけることに。締切は1月末日、初参加の団体も。

野球 1月6日(日)事務所にて理事会を開催し、2018年度の反省と2019年度の方針を協議。新しい役員を増やそうとの確認がなされました。

サッカー 1月6日・13日・20日にリーグ戦開催。

スキー 1月15日・28日にスキー祭典打合せ。バス乗車の参加者も多く、キャンセル待ちの状態。

主な討論内容から。

1. 3月17日(日)開催の第47回県連盟総会
メインスローガンは「魅力ある組織にするための工夫を模索しよう!」です。2018年度の活動を総括し、2019年度の方針をつくり上げます。

2. 事務所の改修・整備

年末から年始にかけて行われました。改修前と比べすっかり整備され、事務所を訪れた方から『オーツ』との驚きの声が上がっています。皆様是非お立寄り下さい。

3. その他

○ひろば誌の拡大・集金 ○財政 ○SportsNetちばの編集 ○千葉県・千葉市の施設調整会議 ○スポーツ祭典への千葉県・千葉市の後援手続き

等の論議がなされました。

スポーツアラカルト

「若い力は、すばらしい」

千葉県テニス協議会の歴史には、いろいろなことがありました。

ここ数年、協議会を運営している委員会には、「前向きさ」を感じます。

「いつも会員・選手は、どう思うだろうか」を考えているからだと考えます。

運営委員会に若手(50代)が2名入ってくれたことが大きな要因です。何かがあると会員・選手の意見を聞こうとアンケート活動が多くなりました。若手の委員は、自分も大会に出場し、参加者の立場からの意見を提供してくれます。

当たり前なのですが、「選手・参加者が主人公!!」のスポーツ連盟には、このことは大切です。

運営委員会のメンバーには、仕事やテニス活動、病院通いで多忙、しかもいつの間にか高齢者、住居方面がバラバラで遠いなどの困難なことがたくさんあります。

年6回程度の運営委員会でも全員が集まるには大変な事で「運営委員長」の悩みのタネです。現役

選手で若手が運営に携わってくれることは、大きなエネルギーとなっています。

テニス協議会の課題のひとつに、「会員の増加」があります。昨年の12月と今年の1月にかけてうれしいことがありました。

若手委員たちの意見で、「この冬の団体戦は3チーム(従来)による対抗戦ではなく、2チームにしよう」と提案されました。なんと、申込みチームが殺到し、会員優先の規定により、出場できないチームが続出しました。

「大会に参加できるように会員になろう」と、この2ヶ月で従来の会員数の倍近くになりました。

3チームは作りにくいけれども、2チームなら参加しやすいというテニス愛好者たちの希望に添った大会案となったわけです。

千葉県テニス協議会は、有能な人による運営ではありません。いつも討議は前へ進んで戻ったり。ケンカしたりボヤイたり。それでも若い人を迎える事ができ、よく生まれてくる問題や困難に対処しています。

千葉県テニス協議会副理事長
富田登喜子(77歳)